



大学共同利用機関法人

人間文化研究機構

平成28年5月25日

各位

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

第4回 人間文化研究機構 メディア懇談会開催の御案内

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構(人文機構)と人文機構が設置する6つの大学共同利用機関である国立歴史民俗博物館(歴博・千葉)、国文学研究資料館(国文研・東京)、国立国語研究所(国語研・東京)、国際日本文化研究センター(日文研・京都)、総合地球環境学研究所(地球研・京都)、国立民族学博物館(民博・大阪)では、立本成文機構長のもと、情報発信の強化を進めており、その一環として各メディア関係の皆様との懇談会を開催いたしております。

このたび、第4回メディア懇談会を下記のとおり開催いたします。今回は、人文機構本部より今後の事業について御案内させていただき、その後、歴博、国文研の研究者より海外にある日本関連資料の調査研究に関する最新の成果や今後の研究事業計画について情報提供いたします。

なお、会場準備のため参加ご希望の場合には、平成28年5月30日(月)までに、別紙の参加申し込み用紙に必要事項を御記入いただくか(Fax03-6402-9240)、Eメール(cip-office☆nihu.jp ☆を@に換えてください) 人文機構総合情報発信センターまでお申し込みくださるようお願い申し上げます。また、今回ご参加いただけない場合も、御連絡をいただけましたら、当日配布資料や今後の御案内なども送らせていただきます。

記

1. 日 時：平成28年6月1日(水) 16:30～
懇談会 16:30～17:50 意見交換会 18:00～
2. 場 所：東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階
人間文化研究機構 会議室
3. 内 容：
16:30 開会挨拶 佐藤洋一郎(人間文化研究機構・広報担当理事)

16:40 事業のご案内

人文機構機関リポジトリ、研究者データベースの公開

第28回 人文機構シンポジウム

「妖怪空間—でそうな場所—」（6月11日 有楽町朝日ホール）ほか

17:00 話題提供（1人20分程）

① 日高 薫（歴博・教授）

「シーボルトの日本博物館を復元する—資料情報共有化の重要性」

ドイツ人医師で民族学者でもあるフィリップ・フランツ・フォン・シーボルトは、二度の訪日を通じて膨大な日本関係資料を持ち帰り、『Nippon』などの書籍を刊行するかたわら、初めてヨーロッパの博物館で日本展示をおこないました。各地に分散したシーボルト関係資料の調査に基づき、ドイツ・オランダ・日本の研究者が共同で進めてきた最新の研究動向についてご紹介します。

② 大友一雄（国文研・教授）

「バチカン図書館所蔵マレガ神父収集文書プロジェクトの進捗と可能性」

戦前の日本でマリオ・マレガ神父が収集した豊後切支丹文書が平成23年にバチカン図書館で発見されました。その数は1万点を越えており、今後のキリシタン禁制研究など近世史・キリスト教研究に大きく寄与する新資料として注目されています。本プロジェクトが実施してきたこれらの文書の調査研究成果を報告するとともに、今年度実施予定のバチカンでの保存・修復に関わるワークショップについてもご紹介します。

18:00 意見交換会（会費500円）

※プログラムは予定であり、変更する場合があります。

【問合せ先】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合情報発信センター

研究員 菊池 百里子

E-mail: cip-office☆nihu.jp

（☆を@に換えてください）

電話：03-6402-9342、03-6402-9244

【会場のご案内】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 本部会議室
東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階
東京メトロ 日比谷線 神谷町駅 徒歩1分
南北線 六本木一丁目駅 徒歩10分



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
ヒューリック神谷町ビル2階

【問合せ先】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合情報発信センター
研究員 菊池 百里子
E-mail: cip-office☆nihu.jp
(☆を@に換えてください)
電話：03-6402-9342、03-6402-9244

